

令和6年度第1回 水道事業及び下水道事業審議会 議事要旨

日 時	令和6年6月25日（水） 午後13時30分～15時15分	
場 所	安城市役所本庁舎3階 第10会議室	
出席者	委 員	齊藤由里恵会長、平山修久副会長 金丸久高委員、兵藤好洋委員、相木孝啓委員、岡田嘉子委員、 菊智ゆき委員、沓名俊章委員、但木美孔委員
	事務局	上下水道部長、下水道課長、下水道課主幹、水道業務課長、 水道工務課長、水道工務課浄水管理事務所長及び下水道課、 水道業務課、水道工務課の課長補佐、係長、担当職員
次 第	1 会長あいさつ 2 議題 (1) 水道事業 ① 適正な水道料金のあり方について (2) 下水道事業 ① 経営戦略（案）について ② 下水道ビジョン（素案）について 3 答申（経営戦略） 4 市長あいさつ	

1 会長あいさつ

【会長】

今回は、今年度第1回目の開催となります。本日の議題は、水道事業からは「適正な料金のあり方について」の説明があります。水道料金につきましては今年度開催を予定しています6回の審議会のすべてにおいて、議題とさせていただき、十分に時間をかけて進めていくこととなりますので、建設的なご意見をお願いします。

また、下水道事業は、「下水道事業経営戦略（案）について」と「下水道ビジョン（素案）について」をご審議いただき、そののちに、「下水道事業経営戦略（案）について」の答申を予定していますので、その答申の内容につきましても、あわせてご審議いただきます。

これまでも皆様には会議の中でご意見を頂戴し、それらを反映して下水道事業経営戦略（案）を作成しているわけですが、パブリックコメントを実施したところ、6名の方から、67件のご意見やご質問があり、その意見の反映につきましても、説明をいただけるということです。

説明の中で、わかりにくい言葉もたくさん出てくることと思います。経営戦略については答申案をつけておりますが、表現や言葉について疑義生じましたら是非ご質問をいただけたらと思います。それでは、本日もどうぞよろしく願いいたします。

2 議題

(1) 水道事業

① 適正な水道料金のあり方について

(事務局説明)

【会長】

ただいまの事務局からの説明に対しまして皆様からご意見ご質問を頂戴したいと思います。いかがでしょうか。

今提示しております経営戦略の中でもすでに現状と乖離が発生しているというところが一つの大きなポイントで、その乖離というところの要因としましては、県営水道料金受水費の値上げがあり、電気代等の高騰、動力費の高騰、物価や建築資材が高騰することによって費用が増加するというところで、そこに対しては、コントロールが効くところではなく、経営戦略が当初見込んでいたものよりもさらに厳しいものになってきている、そういった背景があるのかなと思われまます。

また、有収水量・人口減少とかいったところも結構影響しているとのこと説明もいただいたかと思えます。そういった状況の変化がある中で収支見通しというところは経営戦略策定時よりも乖離が生じたために、中間的な見直しを行う必要がありまして、対応の一つとして料金の改定を検討していく必要があるとのこと。本日は内容的にはボリュームあると思いますが改めてご質問等はございますでしょうか。

私から発言させていただきますが、人口減少ということで、総合計画推計と乖離が生じているとのことですが、どのように今後の人口推計の見通しを立てていくのかが課題だと思います。総合計画が上位計画ですし、少子化への対応など効果を見込んで推計しているとは思いますが、若干上に多めに振れているとは思いますが、総合計画とは違う、別の推計を用いていくかどうか議論が必要だとは感じました。また、有収水量の減少というところで、このコロナ過での減少というところ、家庭と事業所の減少率などについてもその影響の大きさについて検討していただきましたが、どういった変化があるのか、要因分析なども必要かと感じましたのでそちらも踏まえて今後も検討のほどよろしく願いいたします。

ほか、皆様からはよろしいでしょうか。また疑問点等でございましたらお問い合わせいただければと思えますし、資料の提供やご意見に関しても事務局へお伝えいただければと思えます。それでは以上で議題（1）を終了いたします。

2 議題

(2) 下水道事業

① 経営戦略（案）について

(事務局説明)

【会長】

ただいま事務局から説明がありました点につきまして皆様からご意見ご質問がありましたらご発言をお願いいたします。

基本的にはパブリックコメントを受けて、意味が合わない表現や誤りについて修正していると思います。質問くださった方に対しては、ホームページや広報等を通じてリプライされるということです。

それでは、安城市下水道事業経営戦略（案）につきまして皆様の承認をいただきたいと思いますが、承認いただける方は挙手をお願いしたいと思います。

（全員挙手）

全員一致で承認されました。安城市下水道事業経営戦略について承認されました。続いて事務局より説明をお願いいたします。

（事務局より答申に関する説明）

【会長】

ただいまの事務局からの説明につきましてご意見やご質問等ございますでしょうか。この答申が、審議会での議論を重ねた結果ということになります。この答申案に対して承認いただける方は挙手をお願いしたいと思います。

（全員挙手）

この答申案について皆様にご承認いただいたため、次の議題に移りたいと思います。

（2）下水道事業

② 下水道ビジョン（素案）について

（事務局説明）

【会長】

ただいま事務局からご説明がありましたが、この件につきましてご質問ご意見等ご発言いただけたらと思います。

【委員】

資料の6の2ページ目です。下水道の3つのことと書いてあるこの3つというのはこのことを指しているのかよくわからないため説明してください。

【事務局】

この下水道の3つのことというのは、基本方針の3つのことを指しております。安心できるきれいで快適な暮らしの創造、安全で強靱な下水道の構築、安定して持続する下水道サービスの提供。これら3つの基本方針と、ビジョンの前段にて取り上げている、県の処理場へ流れる流域が3つあるという説明をさせていただいている、矢作川流域と境川流域、衣浦東部流域の3つの流域になります。このような要素にかけあわせてあることの3つとしております。

【上下水道部長】

ご指摘のとおり伏線の回収がわかりにくいものとなっています。せっかく投げかけた3つのことというワードを、最後に収まるような流れが必要だと思います。また最終的には表現を分かり易くしたいと思います。

【会長】

こちらのページでの3つという表現が、伏線として投げかけていることが伝わらないということですね。

【委員】

3つに絡めていろいろ伝えたいことがあるんだろうなということは判りますが、ページ下部に登場するたにしくんやおでい様などのキャラクターも3つですし、その他にもいろいろ出てくるとは思いますが、どこにフォーカスされているかが少しわかりにくいです。

【委員】

12ページについて、水質ランキングがワースト2位で、現在は21位ということですが、全体で何位なのかがわかると比較しやすくなります。

それから、21ページですが、下水道整備進捗率目標値が100%となっていたり、下水道処理人口普及率についても指標が記されていますが、実際には人が住み始めたり転居したりで、受益者の増減がエリア内で生じていることから、正確に把握することが大変なものになると思うのですが精度的に大丈夫なのかと感じました。また、工場のような事業者の下水への接続についても含まれているのか。工場もエリア内で増減するで

しょうが、簡単には接続されないのか、そういった要因も含まれた指標となっているのか教えてほしいです。

【事務局】

12ページについて、順位の説明の数値ですが、油ヶ淵の水質が綺麗になっていることがより分かり易く表現できるよう検討します。

それと21ページの下水道整備率の100%でございますが、ページ下部に説明があり、「下水道整備進捗率とは事業計画面積のうち整備済面積の割合」ですので、あくまで面積で100%を目指していくと定義するものです。人口ベースでの接続率とは違う計上の仕方でございます。

【委員】

人口普及率という指標は、面積ではなく、人口ベースということですか。

【事務局】

おっしゃるとおりです。また、先ほどの質問の12ページの水質についてですが、全国で197ある湖沼のうち、ワースト2位から21位まで順位が上がったということです。全国的にはまだまだ改善の余地があるように見えますが、全国的に下水道が普及して水質が綺麗になってきておりますので、水質改善が単純に順位の数値を上げていくことに直結しないというのが現状です。

【委員】

以前、新聞にて水道水に有機フッ素が沢山含まれている箇所があるということで、安城市ではそういった項目を検査に含んでいるのか気になりました。

【事務局】

水道水の中に有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）という物質が混入しているという情報が全国で報道されてます。安城市については、浄水場から水を送り出すところと、取水するための井戸が10ヶ所あるのですが、その全ての井戸について、年2回水質検査しておりまして、今までPFOS・PFOAが検出されたことはありませんので、報道されているような物質が水道水に入ってくることはありません。安城市のホームページの水質検査結果というところで、過去令和2年度からさかのぼって検査結果をご覧ください。

【委員】

2 ページ目について、まず、事務局に対してどうこうしてほしいということではなく、疑問に感じたこととしてお話しさせていただきます。

初めに、この「下水道ビジョンをより面白くする」ということですが、面白くなくてもいいなと思います。「わかりやすくする」のほうがいいと思います。「最初に知っていただきたい」というよりも、「最初に知ってほしい下水道の3つのこと」のように、言葉の表現を全体的に整えたほうがいいと思います。

他にも、「たにしくん」と「ようせい」について、かわいいキャラクターだと思いますが、「おでい様」の外枠が「たにしくん」と「ようせい」と作り方が違って見えます。そのあたりの表現を統一した方がいいと思います。するとデザインが統一されたように見えると思いました。

名前もかわいいのですが、タニシを「たにしくん」というのは人間を「人間」と呼ぶのと同じなので、例えば愛称を公募してもいいと思います。妖精も「ようせい」となっていますが、タニシの妖精だから、「たにしちゃん」のようになると思います。「おでい様」について、「一人称はおでい」というのはおかしくて、おでい様はどこから生まれたのかとか、キャラクターのしっかりした設定がもっと必要かと思います。これから完成に向けてプロも校正で関わると思うので、しっかりと日本語を整える必要があります。

次に写真について、このままの写真の本番で掲載するのはいかがかと思います。色味の調整だったりかなり画質を変えてあり、仕上がりがバラバラなので、全て統一させていくと良い印象になっていくのではないのでしょうか。

最後に43 ページ、民間広告の掲載のところで、新たなマンホールカードが発行され、歴史博物館に行列ができたという実績もありますので、このあたりは大賛成なのですが、例えば他でステッカーを作る等の広告も今後考えるといいと思います。

例えば自分の会社をマンホールの蓋に広告し、道路に敷かれ、人が踏んでいきますとなったとき、抵抗がある方もいらっしゃると思います。その代替案としてステッカーはいかがかなと。過去にありましたが、コースターで飲み物を乗せて、水気が浸み込んでいくと絵が浮き出てくるような面白い物がありましたが、例えばそのように広告を出せるようにすれば、やりたいという会社もあるかもしれません。費用面でも安く手軽に協力できるかもしれません。

【事務局】

ありがとうございます。今後の修正の参考にさせていただきたいと思います。

【委員】

下水道ビジョンがあることが前提になって作られてますが、下水道ビジョンは何かという説明を入れたほうがいいです。冊子の最初の方に下水道ビジョンはどういう目的、意図かというアピールを掲げるべきです。よりわかりやすく知っていただくために前編、本編、資料編と分けて作っていると思います。前編にて伝えたいことの説明があり、本編の説明や概要、細かい説明があると個人的には読みやすいものになると思います。

他の委員からもありましたが、「最初に知っていただきたい3つ」が何なのか、解りにくいので、最初のアピールのような説明を入れていただくといいかなと思いました。

また、前編のページ数が長く、始まりだと思って読んでいくと本編のようなボリューム感で、でも本編がやっぱり始まり、流れが悪いです。

本編をいきなり読んでもらうよりは、ある程度下水道の前提を知ってもらいたいとのことだと思います。しかし、前編と本編の繋ぎ目が難しく、前編を本編のように読んでしまい、読みにくいと思いました。

あと、資料編の4-1というのに対して4-2や3がないなと思います。4-4が管理指標一覧なので。見出しも何の4-1なのかわからないというのと、「ビジョンの実現に向けて」というサブタイトルも疑問に感じました。

個々のページはすごく見やすいと思いますが、全体的に一気に読み進めていくときに最初に冊子全体像が伝わり、今どこを読んでいるのかが把握でき、ビジョン全体のストーリー性を向上して欲しいと思いました。

【事務局】

ありがとうございました。ご意見を踏まえまして再検討させていただきますので、また審議会2回目、3回目で提案を出していきたいと思っておりますのでお願いいたします。

【会長】

基本的にはこの前編というところが、下水道のことについて理解をしていない方や知らない方も、本編で難しい説明内容になる前に理解していただくという位置づけなのでしょうか。

【事務局】

このビジョンの本編を読む前に下水道とはどんなものかということに記載しているのがこの前編で、安城市の下水道とはこういうものですよという説明をまず提示させていただいて、本編というのは、第1章から第3章までの施策を分野ごとの方針ごとに分けて構成した形になります。ご指摘のように、最初の全体像に関する説明がなくわかりにくいと思いますので、再検討させていただきたいと思います。

【委員】

他の委員からお話があったように、前編が長いということですが、前編、本編、資料編について、編・編・編と韻を踏まれたと思うのですが、例えば、前編を「はじめに」と変更すれば、わかりやすくなるのではないのでしょうか。

【副会長】

これまでの皆さんの発言に対してぜひ検討いただきたいと思うのですが、やはりビジョンをどのように市民に伝えていくのかというのがとても難しいことだと思います。

ビジョンはとても大切で、すなわち安城市の下水道が何を目指しているのかという将来の姿がビジョンであり、それを実現するためにはどのような政策をしていくのかという説明が、本編のさらに具体的な施策1-1のように記されていて、それを具体的な形で経営戦略や他の計画に展開していく。かつ、定期的に何年間で見直しをすることを理解していただくことだと思います。

すると、他の委員が言われたように、ビジョンとは何というところをしっかりと説明をすることも大切ですし、例えば、初めに「下水道ビジョンをより面白く」と始めるページで、我々はこういう街を目指しますという、下水道事業を通じて安城市の目指す姿にしていくということを知ってもらうことが大切です。このビジョンはそれを達成するための戦術であり具体化するための様々な施策が記されていて、そのビジョンをどのように市民に伝えるのか、そのための媒体であるという理解のうえで構成を考えていただきたいです。

色味や、3という数字で整理をしていくとか、構成だとかずいぶん工夫されているのですが、別の委員が言われたように、3って一体何のことか、曖昧になってしまっているのももう少し工夫していただきたいです。例えば、最初のページについて下水道ビジョンとするより、「みんなでつくろう未来につなぐ水の環下水道」を目指します、とするとか、その説明としてイラストがあり、目指していくことが1枚目で伝わるような、そのような工夫をされたらと思います。それが1点目です。

2点目は、本編の第1章第2章第3章について、安城市の「安」だけ目立たせていますが、第1章で安心、第2章は安全、第3章は安定なので、できれば安心、安全、安定というものはより目立たせてもいいと思います。

もちろん安城市の「安」とかけているとは思いますが、安心、安全、安定というのがより伝わる表現でもいいと思います。そういう意味からすると、1章の項目が2つだけでは少ないと思いき、例えば快適な暮らしの創造であれば、3-1の広域化・共同化の推進で、実は快適な暮らしの創造にもかかるはずなので、安心できる暮らしを創造するために広域化や共同化を推進しているとも捉えられるので、項目2ではなく、3か4ぐらいに増やせないかと感じました。

【会長】

私も副会長がおっしゃったことと同様、やはりこのビジョンでゴールを示していると思うので、まずどこにそれがあるのか把握できた方が読み進めやすいなと感じました。また、ボリュームも各章のバランスをとったほうがいいのではないかと思うところで、住民の皆さんの安心、安全というところも関心が高い分野ではないかと思うので、バランスについて検討いただければなと思います。

また、スケジュールについてですが、令和6年度中の令和7年2月に施行するという説明ですが、問題ありませんでしょうか。当初のスケジュールを予定されているとは思いますが、問題ないようにしていただければと思います。

それでは次第にありました議題は以上で終了いたしました。進行の方を事務局にお願いさせていただきます。

3 答申

(会長から三星市長へ答申書の提出)

【事務局】

答申を受けて、三星市長からお礼のあいさつを申し上げます。

【三星市長】

本日は、ご多用の中にもかかわらず、「安城市水道事業及び下水道事業審議会」にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、私からは、「安城市下水道事業経営戦略の見直し」に係る答申をいただきましたことにつきまして皆様に御礼のごあいさつを申し上げたいと思います。

まず、委員の皆様におかれましては、令和4年7月における審議会での諮問に始まりましたが、本日までの2年の間、慎重なご審議、貴重なご意見やご提言をいただき、誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。

さて、本市の下水道事業は、平成5年に供用を開始して以来31年が経過しており、今後は令和7年度までに整備を完了するため、鋭意努力をしております、その後は維持管理の時代に移行していくものと考えております。

このような状況の中で、安全で安心して使用できる下水道を継続していくためには、今後が増大することが見込まれる維持管理費につきまして、私どもが経費削減に努めることはもちろんのこと、その一方で、公営企業会計における独立採算という原則を念頭におき、使用料収入を確保していくことが必要になってまいります。

そして、今年4月に実施いたしましたパブリックコメントにおきましては、下水道使用料の改定に関するご意見が多々あり、市民の皆様の関心の高さの表れであるものと受け止め、今後も引き続き丁寧な説明に努めていく所存でございます。

この新しい下水道事業経営戦略によって、これから先においても、安全、安心である下水道事業の安定的な経営に努めていき、皆様のご期待に応えられますように、邁進いたします。

委員の皆様におかれましては、今後も変わらず下水道事業の経営につきまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、下水道事業に引き続き、今年2月に「適正な水道料金のあり方」につきましても諮問させていただいており、ご審議をお願いさせていただいているところでございます。難しい判断ではございますが、安城市の将来の水道事業のために、忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。

今後、上下水道事業の推進にあたりまして、委員の皆様をはじめ、関係機関の皆様のお力添えをお願い申し上げ、簡単ではございますが、私からのあいさつとさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

【事務局】

以上をもちまして、令和6年度第1回安城市水道事業及び下水道事業審議会を終了いたします。なお、次回の審議会は7月22日月曜日です。今年度あと5回ほど予定しておりますので、よろしく願いいたします。本日は皆様ありがとうございました。

終了 15:15